

※ 第1号様式に記載すると第2号及び第3号様式に反映されます。

記入例

(第1号様式)

奄美少年自然の家使用許可申請書

令和 8 年 〇 月 × 日

鹿児島県教育委員会 殿

申請者	所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2		
	名称	奄美少年自然の家学校		
	職・氏名	校長 朝仁 海		

下記のとおり奄美少年自然の家を使用したいので許可くださるよう申請します。

記

名称	奄美少年自然の家学校		所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
			郵便番号	894-0043	電話番号	0997-53-1032	
申請者の職・氏名	職	氏名	住所	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
引率責任者の職・氏名	職	氏名		奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
研修会名	集団宿泊学習						
研修目的	<p>豊かな自然の中で、奄美特有の様々な体験活動を通して、自立に向けた心構えに気づくことができるようにする。</p> <p>集団生活での体験活動を通して、協働しながら不便な生活を乗り越えることで、あらゆる他者を価値ある存在としてよりよい人間関係を築くことができるようにする。</p>						
参加人員	勤労青年	小学生	30人	中学生			
	高校生	高専・大学生		成人一般	4人		
	幼児	その他		計	34人		
入所日時	第1希望	4月1日 10時00分	第2希望	月	日	時	分
退所日時	第1希望	4月3日 10時00分	第2希望	月	日	時	分
参加人員	(宿泊を伴う場合に記入)		男	女	計		
			17人	17人	34人		
研修日時	別紙(日程計画書のとおり)						
その他伝達事項							

注 日程計画書及び利用者名簿を添付すること。

奄美少年自然の家使用許可書

記入例

鹿教委指令第 号

所在地 奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2
 指令先 名称 奄美少年自然の家学校
 職・氏名 校長 ・ 朝仁 海

下記のとおり奄美少年自然の家の使用を許可する。

令和 年 月 日

鹿児島県立奄美少年自然の家所長

記

名称	奄美少年自然の家学校			所在地	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
					郵便番号	894-0043	電話番号	0997-53-1032
申請者の 職氏名	職	氏名		住所	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
		校長	朝仁 海					
引率責任者 の職氏名	職	氏名		住所	奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2			
		教頭	赤崎 台地					
研修会名	集団宿泊学習							
研修 目的	<p>豊かな自然の中で、奄美特有の様々な体験活動を通して、自立に向けた心構えに気づくことができるようにする。 集団生活での体験活動を通して、協働しながら不便な生活を乗り越えることで、あらゆる他者を価値ある存在としてよりよい人間関係を築くことができるようにする。</p>							
参 加 人 員	勤 労 青 年		小 学 生		30人		中 学 生	
	高 校 生		高 専 ・ 大 学 生				成 人 一 般	
	幼 児		そ の 他				計	
参加人員 (宿泊を伴う場合)	男	女	計	入所日時	4 月	1 日	10 時	00 分
	17人	17人	34人	退所日時	4 月	3 日	10 時	00 分
研修日時	別紙(日程計画書のとおり)							
使用料	※ 円							
許可条件	令和8年度「利用の手引き」に記載された内容に基づいて当所を利用すること。							

注 入所の際受付に提示すること。

使用料免除(減額)申請書

記入例

令和 8 年 〇 月 × 日

鹿児島県教育委員会 殿

申請者 所在地 奄美市名瀬朝仁字赤崎1096-2
名称 奄美少年自然の家学校
職・氏名 校長 朝仁 海

下記について、鹿児島県青少年社会教育施設の設置及び管理に関する
条例第8条の規定により、使用料を 免除 ・減額 くださるよう必要な
書類を添えて申請します。

記

Table with columns for Name, Address, Applicant, Purpose, Participants, Dates, and Fees. Includes a detailed calculation table for fee exemption (免除(減額)の見込額) showing calculations for training facilities, accommodation, and campsite.

注 ※印は記入不要

利用者名簿

No.1

記入例

- 注 1 使用許可申請書と同時に提出してください。
 2 引率者名も御記入ください。(「学年等」の欄は年齢・職名可)
 3 性別欄は、宿泊時のみ御記入ください。
 4 備考欄は、食物以外のアレルギー等、配慮の必要な事項等について御記入ください。
 5 下記の内容が分かれば学級名簿等でもかまいません。

団体名	奄美少年自然の家学校	連絡責任者・連絡先	大虎 つぐみ	0997-53-1032
-----	------------	-----------	--------	--------------

番号	氏名	性別	学年等	備考(配慮の必要な事項等)
1	奄美 蘭	男	5年	
2	名瀬 赤木	男	5年	
3	大和 葵	女	5年	
4	宇検 百合	女	5年	
5	瀬戸内 芙蓉	男	5年	
6	龍郷 すみれ	女	5年	
7	朝仁 海人	男	5年	ぜんそく(吸入器持参・夕食時薬服用)
8	小浜 空未	女	5年	
9	大熊 守	男	5年	
10	大畑 太陽	女	5年	
11	磯野 カツオ	男	5年	アレルギー性鼻炎(内服薬持参)
12	花沢 花子	女	5年	
13	中島 弘	男	5年	
14	大空 かおり	女	5年	
15	橋本 とおる	男	5年	
16	西原 卓磨	男	5年	
17	黒井 ヒトミ	女	5年	
18	石田 公一	男	5年	
19	塩田 スズコ	女	5年	
20	大島 みゆき	女	5年	
21	望月 ゆうた	男	5年	足の骨折松葉杖で参加
22	杉下 右京	男	5年	衝動的に行動することがある。
23	社 美彌子	女	5年	
24	片山 雛子	女	5年	
25	月本 幸子	女	5年	
26	小松 真琴	男	5年	
27	市原 里奈	女	5年	
28	角田 六郎	男	5年	
29	倉本 美奈子	女	5年	
30	亀山 美和子	女	5年	
31	赤崎 台地	男	教頭	
32	大虎 つぐみ	女	教諭	
33	風間 楓子	女	教諭	
34	小出 菜梨	女	養護教諭	
35				
36				
37				
38				
39				
40				

食物アレルギー調査票

No. 1

研修期間	令和 8 年 0 月 0 日 ~ 0 月 0 日 (2 泊 3 日)
団体名	奄美少年自然の家学校 連絡先 0997-53-1032

記入例

該当者なし

- 1 使用許可申請書(1号様式)と一緒に該当者がいない場合も提出してください。
- 2 該当者がいない場合は、「該当者なし」の欄に○を入力してください。
- 3 「好き嫌い」は対象外です。アレルギー表示対象28品目を中心にお書きください。

利用者名簿 番号	氏名	医師の診断	エピペンの所持	一つの欄に一つずつ アレルギー品目を 具体的に記載してください。 ※右の【アレルギー表示対象28品目】 を御参照ください。)	アレルギーの程度				特記事項	
					全く食べられない	条件によっては食べられる		特記事項		
					調理油	エキス	つなぎ程度なら可			自分で取り除けば可
					分ける	分けなくて良い	不可		可	
1-3	大和 葵	○	×	卵					加熱してあれば可	(アナフィラキシーなど、 摂取時に現れる症状等)
1-7	朝仁 海人	○	○	えび	○					半熟では食べられない。じん麻疹。 じん麻疹・量によっては呼吸困難。 じん麻疹・量によっては呼吸困難。
				カシューナッツ	○					
No.1-25	奄少 一郎	○		牛肉					○	発熱・発疹
No.4-2	奄少 海美	○	○	えび	○					詳細を別途相談したい
	//	○	○	卵					○	じんましん・量によっては呼吸困難

※ 一人の研修生について、該当する品目が複数ある場合は、品ごとにそれぞれ記載してください。

野外炊さん班編成表

記入例

※ 野外炊さんを実施する団体のみ提出してください。

※ 1班を5～10人で編成してください。

※ 原則12班以内で編成してください。

団体名	奄美少年自然の家学校		
実施日	○ 月	△ 日	夕食

番号	班名	人数			各系の活動内容 (班ごとに3つの係を決めてください)
		研修生	引率者	計	
1	Aグループ	7	1	8	食器係 1 食器や調理器具などを準備する。 2 羽釜や鍋、食器、調理器具などを洗い、調理係に渡す。 ○ 調理用具は除菌する。 3 食事後、食器や調理器具などをきれいに洗い、職員の点検を受ける。
2	Bグループ	8	1	9	
3	Cグループ	7	1	8	
4	Dグループ	8	1	9	
5					調理係 1 食堂に食材を取りに行く。 2 米をとぐ。 3 食材を洗ったり、切ったりして下ごしらえをする。 4 食事後、食器係と一緒に食器や調理器具をきれいに洗う。 5 流し場の後片付けとごみの処理をする。
6					
7					
8					
9					
10					
11					かまど係 1 薪倉庫に薪を取りに行く。 2 かまどの火をおこす。 3 食器係や調理係と協力して米を炊き、おかずを作る。 ○ 火の調整をする。 4 残った薪を薪倉庫に戻す。 5 かまど周辺を掃除する。 ※ 残り火の処理は、自然の家職員が行います。
12					
13					
14					
合計		30	4	34	